

政策目標	3	活力みなぎる元気な街						
重点課題	4	将来を見据えた魅力ある都市の整備						
施策の基本方針								
<p>超高齢社会の進展や環境への影響に配慮しながら、都市の魅力を高め、持続的に発展していくため、都心や苗穂駅周辺地区など地域特性に応じた拠点のまちづくりを進め、コンパクトシティへの再構築を推進します。また、総合的な交通計画を策定し、公共交通機関を軸とした交通体系の確立を図るとともに、路面電車の延伸、北海道新幹線の札幌延伸、自転車の利用環境の充実などを推進します。</p>								
計画事業費の執行状況								
施策番号	事業名	計画事業費	事業費(単位:千円)				合計	進捗率(%)
			23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(予算)	26年度(予算)		
施策1 道都札幌を支える交通体系の構築								
	路面電車延伸推進事業	2,014,000	76,475	125,464	<u>692,000</u>		893,939	44.4
	路面電車老朽車両の更新に伴う低床車両の導入	852,000	0	331,304	<u>525,000</u>		856,304	100.5
	ICカード「SAPICA」の導入拡大と活用	3,297,000	1,076,822	1,168,863	1,052,000		3,297,685	100.0
	SAPICAの地下鉄・バス・路面電車での共通利用および他事業者の発行するICカードの受入(片利用)	2,174,000	253,685	1,225,713	278,315		1,757,713	80.9
	地域交通計画策定事業	35,000	11,078	8,411	5,400		24,889	71.1
	公共交通利用促進事業	64,000	31,668	6,221	6,200		44,089	68.9
	北海道新幹線推進事業	80,000	6,176	9,053	10,000		25,229	31.5
	丘珠空港利用促進事業	20,000	8,400	3,938	4,000		16,338	81.7
	都心アクセス道路強化事業	39,000	3,026	9,814	12,000		24,840	63.7
	自転車マナー向上対策の拡充	10,000	0	4,935	4,000		8,935	89.4
	総合的な駐輪対策の推進	1,372,000	84,929	418,819	72,441		576,189	42.0
施策2 魅力あふれる都市のまちづくり								
	将来を見据えた都市構造(コンパクト・シティ)への強化推進事業	40,000	7,221	7,775	8,500		23,496	58.7
	郊外住宅地のエリアマネジメント推進事業	48,000	8,825	5,136	11,900		25,861	53.9
	苗穂駅周辺地区のまちづくり事業	1,447,000	3,887	104,473	362,400		470,760	32.5
	民間再開発による苗穂まちづくりへの支援(北3東11周辺地区)	188,000	0	0	54,000		54,000	28.7
	民間再開発によるまちづくりへの支援	6,836,000	244,570	696,240	<u>737,590</u>		1,678,400	24.6
	創世1.1.1区北1西1地区市街地再開発推進事業	4,429,000	2,108	1,300	360,000		363,408	8.2
	(仮称)市民交流複合施設の整備【再掲】	7,793,000	2,582	8,373	13,100		24,055	0.3
	西2丁目地下歩道整備計画推進事業	1,448,000	6,108	4,278	0		10,386	0.7
	大通交流拠点まちづくり推進事業	2,158,000	19,460	43,661	925,000		988,121	45.8
	南一条まちづくりの事業化検討	—	9,348	9,394	9,000		27,742	—
	都心まちづくり戦略事業化推進	25,000	5,377	5,967	5,800		17,144	68.6
	都心エリアマネジメント推進事業	28,000	7,029	4,945	6,000		17,974	64.2
	札幌駅交流拠点まちづくり推進事業	28,000	6,447	0	5,700		12,147	43.4
	創世交流拠点まちづくり推進事業	23,000	1,159	6,458	6,000		13,617	59.2
	総合的な駐輪対策の推進【再掲】	1,372,000	84,929	418,819	72,441		576,189	42.0
施策3 市有建築物の保全、長寿命化などの推進								
	市有建築物の総合的な保全の推進	11,394,000	2,291,352	2,868,435	<u>5,458,737</u>		10,618,524	93.2
	札幌市立大学施設整備費補助	265,000	0	0	178,900		178,900	67.5
	学校給食における衛生管理の充実・向上	165,000	5,050	96,355	61,000		162,405	98.4
	中学校格技場整備事業	660,000	282,937	313,166	516,000		1,112,103	168.5
	市有建築物の改築等	2,713,000	759,088	1,622,161	421,800		2,803,049	103.3
	(仮称)白石区複合庁舎整備事業	4,306,000	12,252	63,384	78,000		153,636	3.6
	学校施設改築事業	20,756,000	3,141,622	7,110,988	5,277,985		15,530,595	74.8
重点課題合計		76,079,000	8,453,610	16,703,843	17,231,209	0	42,388,662	55.7

注:事業費下線部は、前年繰り越し分を含めた額

政策目標	3	活力みなぎる元気な街				
重点課題	4	将来を見据えた魅力ある都市の整備				
達成目標の状況						
事業名 達成目標	22年度末 (現状値)	23年度末 (実績値)	24年度末 (実績値)	25年度末 (実績値)	26年度末 (実績値)	26年度末 (目標値)
施策1 道都札幌を支える交通体系の構築						
路面電車延伸推進事業						
1 路面電車活用計画の策定	検討	策定	－			策定 (23年度)
2 既設線のループ化	－	－	実施設計			完成
路面電車老朽車両の更新に伴う低床車両の導入						
3 低床車両の導入	－	－	1両			3両
ICカード「SAPICA」の導入拡大と活用						
4 バス・路面電車のICカード導入社数	－	－	－			4社 (25年度)
5 行政等の電子マネー決済導入箇所	1カ所	19カ所	19カ所			19カ所 (24年度)
SAPICAの地下鉄・バス・路面電車での共通利用および他事業者の発行するICカードの受入(片利用)						
6 SAPICAの市内民間バスおよび路面電車への導入	－	準備	開発・試験			導入 (25年度)
7 JRなど他事業者の発行するICカードの受入	－	準備	開発・試験			受入 (25年度)
地域交通計画策定事業						
8 地域交通計画の策定	検討	検討	検討			策定
公共交通利用促進事業						
9 公共交通への自発的転換促進	検討	一部実施	一部実施			実施
北海道新幹線推進事業						
10 早期の認可・着工の決定	－	未着工	着工			着工
11 啓発・PR活動の実施回数	16回	4回	13回			20回
丘珠空港利用促進事業						
12 丘珠空港路線の利用者数	155千人	128千人	132千人 (速報値)			170千人
都心アクセス道路強化事業						
13 都心アクセス強化道路の計画検討(豊平川通北伸)	－	－	計画検討			計画検討
自転車マナー向上対策の拡充						
14 都心部に押し歩き地区を設定	－	－	－			設定
15 バーチャル自転車教習所の利用者数	－	－	－			20,000人
総合的な駐輪対策の推進						
16 駐輪場整備台数(都心部)	5,571台	5,626台	6,025台			6,721台
17 駐輪場整備台数(駅周辺)	42,259台	42,976台	44,986台			44,039台

注: 番号は、重点課題ごとの通し番号

政策目標	3	活力みなぎる元気な街				
重点課題	4	将来を見据えた魅力ある都市の整備				
達成目標の状況						
事業名 達成目標	22年度末 (現状値)	23年度末 (実績値)	24年度末 (実績値)	25年度末 (実績値)	26年度末 (実績値)	26年度末 (目標値)
施策2 魅力あふれる都市のまちづくり						
将来を見据えた都市構造(コンパクト・シティ)への強化推進事業						
18 用途地域等の全市見直し	検討	実施	—			実施 (23年度)
19 都市計画マスタープランの見直し	—	—	検討			実施
郊外住宅地のエリアマネジメント推進事業						
20 地域各種団体との勉強会の開催	—	8回	10回			20回
21 エリアマネジメント手法を活用した取り組み	—	2事業	2事業			3事業
苗穂駅周辺地区のまちづくり事業						
22 施設整備	—	—	—			着工
民間再開発による苗穂まちづくりへの支援(北3東11周辺地区)						
23 再開発事業の進捗	検討	推進計画 策定	—			組合設立
民間再開発によるまちづくりへの支援						
24 琴似4・2地区再開発事業	工事中	工事中	工事中			完了 (25年度)
25 北8西1地区再開発事業	—	推進計画 策定	—			着工
26 南2西3南地区再開発事業	—	—	—			着工
創世1.1.1区北1西1地区市街地再開発推進事業						
27 北1西1地区市街地再開発事業の事業化	検討	検討	検討			着工
(仮称)市民交流複合施設の整備【再掲】						
28 (仮称)市民交流複合施設の整備	検討	検討	検討			着工
西2丁目地下歩道整備計画推進事業						
29 西2丁目地下歩道の整備	検討	検討	検討			着工
大通交流拠点まちづくり推進事業						
30 大通交流拠点の整備	検討	検討	検討			整備 (25年度)
南一条まちづくりの事業化検討						
31 南一条地区整備の事業化	検討	検討	検討			事業化判断
都心まちづくり戦略事業化推進						
32 創成川以東地区まちづくり会議の設置	—	設置	—			設置 (23年度)
33 創成川以東地区まちづくり計画の策定	—	検討	検討			策定 (24年度)
都心エリアマネジメント推進事業						
34 都心全体のエリアマネジメント組織設立	検討	都心まちづくり 推進会議を開催	エリアマネジメント 組織のあり方検討			設立
35 地区が連携した都心部活性化の取り組みの実施	検討	駅前通地区、大通 地区で実施	駅前通地区、大通 地区で実施			すべての地区 での実施
札幌駅交流拠点まちづくり推進事業						
36 札幌駅交流拠点再整備構想の策定	検討	検討	検討			策定 (24年度)
37 整備基本計画の策定	—	—	—			策定
創世交流拠点まちづくり推進事業						
38 創世交流拠点まちづくりガイドラインの策定	検討	検討	検討			策定 (25年度)
総合的な駐輪対策の推進【再掲】						
39 駐輪場整備台数(都心部)	5,571台	5,626台	6,025台			6,721台
40 駐輪場整備台数(駅周辺)	42,259台	42,976台	44,986台			44,039台

注:番号は、重点課題ごとの通し番号

政策目標	3	活力みなぎる元気な街				
重点課題	4	将来を見据えた魅力ある都市の整備				
達成目標の状況						
事業名 達成目標	22年度末 (現状値)	23年度末 (実績値)	24年度末 (実績値)	25年度末 (実績値)	26年度末 (実績値)	26年度末 (目標値)
施策3 市有建築物の保全、長寿命化などの推進						
市有建築物の総合的な保全の推進						
41 保全実施延べ施設数	—	41施設	163施設			120施設
札幌市立大学施設整備費補助						
42 適切な保全の実施	—	—	—			実施
学校給食における衛生管理の充実・向上						
43 汚染区域と非汚染区域を明確に区分している学校	16校	20校	46校			98校
中学校格技場整備事業						
44 中学校への格技場設置数	66校	69校	72校			72校
市有建築物の改築等						
45 エレベーター設置未着手の地区センター数	7カ所	6カ所	5カ所			3カ所
46 区役所への非常用発電設備設置数	—	—	2区役所			5区役所
(仮称)白石区複合庁舎整備事業						
47 (仮称)白石区複合庁舎の整備	—	基本計画 策定	基本設計 民間事業者公募			着工
学校施設改築事業						
48 計画期間内に着手する学校数(累計)	—	2校	5校			12校

注:番号は、重点課題ごとの通し番号

さっぽろ“えがお”指標の動向						
さっぽろ“えがお”指標 実績値の推移に係る検証	(現状値)	23年度末 (実績値)	24年度末 (実績値)	25年度末 (実績値)	26年度末 (実績値)	(目標値)
市民意識・行動指標						
56 札幌市が「自転車のルールやマナーが守られている安全なまち」だと思う人の割合	18.0% (23年度)	—	11.4% (24年度)			40% (26年度)
24年度より「自転車押し歩きの社会実験」を実施し、意識啓発を促進しているものの、自転車利用者にルールやマナーが広く浸透していないため、現段階では目標値に届いていない。						
57 公共交通に対する満足度	45.0% (22年度)	68.7% (23年度)	74.7% (24年度)			55% (26年度)
新型低床車両の導入やバス・市電へのSAPICA導入など、公共交通の利便性の向上に資する施策の実施が、数値の上昇をもたらしたと考えられる。						
58 住んでいる地域の住環境に満足している人の割合	55.7% (22年度)	75.9% (23年度)	80.1% (24年度)			60% (26年度)
都市計画分野のさまざまな取組が地域の住環境を向上させ、目標値を達成したと考えられる。						
59 札幌の都心に「にぎわい」があると感じる人の割合	63.0% (22年度)	76.2% (23年度)	79.5% (24年度)			70% (26年度)
札幌駅前通地下歩行空間や創成川公園でのイベントの実施などが、都心のにぎわいにつながり、目標値を達成したと考えられる。						
社会成果指標						
60 公共交通の利用者数	107万人 (22年度)	107万人 (23年度)	108万人 (24年度)			108万人 (26年度)
バスの利用者は減少し続けているが、モビリティマネジメントなど様々な利用促進策の実施により、JR、地下鉄及び路面電車の利用者は増加しており、目標値に到達している。						

注:番号は、さっぽろ“えがお”指標の通し番号

政策目標	3	活力みなぎる元気な街
重点課題	4	将来を見据えた魅力ある都市の整備
事業実績、評価と反省、今後の取り組み等		
施策1	道都札幌を支える交通体系の構築	
24年度の主な取組内容(実績)		
ループ化区間の実施設計。交通影響分析。 市電フェスティバル等での市民への情報提供。	低床車両1両を製造・導入。	
電子マネー決済の継続実施(公共部門19カ所)。 交通事業者にSAPICA導入初期費用の補助を実施。	路面電車のICカードシステム及び地下鉄の駅務機器などの開発・試験を実施。	
北海道新幹線札幌延伸の早期実現に向けた誘致PRイベントや連携強化などを実施。	都心部や駅周辺部に駐輪場を整備(麻生、北24条)。	
25年度の主な取組内容(予定)		
ループ化区間の工事着手。延伸地域の検討。 市電フェスティバル等での市民への情報提供。	低床車両2両を製造・導入。	
電子マネー決済の新規導入(1カ所)及び継続実施(19カ所)。 交通事業者にSAPICA導入初期費用の補助を継続実施。	路面電車・バスのICカードシステム(定期以外)を開始。ICカードシステム(定期券)及び地下鉄の駅務機器などの開発・試験を実施。	
北海道新幹線札幌延伸の早期開業に向けて市民機運醸成PRや関係機関との連携強化などを継続実施。	自転車押し歩き地区の設定社会実験を実施。	
駅周辺部に駐輪場を整備(栄町)。		
施策への貢献及び成果指標さっぽろ“えがお指標”の状況からみた事業の評価と反省		
【ICカード「SAPICA」の導入拡大と活用】バス・路面電車へのSAPICA導入への着手や電子マネー等の多目的な利用の実現により公共交通の利便性を高めることで、「公共交通に対する満足度」と「公共交通の利用者数」に貢献できた。 【総合的な駐輪対策の推進】駅周辺での駐輪場整備を行い、自転車利用環境の充実につながったと考えられる。		
施策への貢献及び成果指標さっぽろ“えがお指標”の達成に向けた今後の事業の取り組み		
【路面電車延伸推進事業】公共交通機関としての利便性と利用者サービスの向上策について検討を進めるとともに、都心の賑わいづくりに向け、沿線における地域イベントなどとの連携について、地域との協議を進めていく。また、既設線の利用促進に向けた取組を進める。 【ICカード「SAPICA」の導入拡大と活用】バス・路面電車へのSAPICA導入は公共交通の利便性向上に資する取組であることから、計画どおり25年度に導入を実現するため、各交通事業者と連携して着実に準備を進める。		
施策2	魅力あふれる都市のまちづくり	
24年度の主な取組内容(実績)		
都市計画マスタープランの見直しに向けて基礎データ収集、関連施策等に係る調査検討を実施。	もみじ台や真駒内地域のエリアマネジメントを推進。	
苗穂駅周辺地区における、自由通路、ネットワーク道路等の基本設計や調査測量等を実施。	琴似4・2地区再開発事業の建築工事を実施。	
大通交流拠点地下広場の実施設計。	都心各地区のまちづくり組織支援や札幌駅前通地上部の空間活用検討等により、都心のエリアマネジメントを推進。	
25年度の主な取組内容(予定)		
都市計画マスタープランの見直しに向けて基礎データ収集、関連施策等に係る調査検討を引き続き実施。	もみじ台や真駒内地域におけるエリアマネジメントを引き続き推進。	
苗穂駅周辺地区における、自由通路、ネットワーク道路等の基本設計や調査測量等を引き続き実施。	手稲本町1・3地区再開発事業の建築工事に着手するほか、琴似4・2地区再開発事業の建築工事を引き続き実施。	
大通交流拠点地下広場の工事を実施。	都心各地区のまちづくり組織支援や札幌駅前通地上部の空間活用検討等により、都心のエリアマネジメントを引き続き推進。	
施策への貢献及び成果指標さっぽろ“えがお指標”の状況からみた事業の評価と反省		
【苗穂駅周辺地区のまちづくり事業】苗穂駅や周辺公共施設の都市計画決定を行った。今後、整備を進めることで公共交通に対する満足度の増加を目指し、引き続き各関係機関と協議しながら進めていく。 【都心エリアマネジメント推進事業】「にぎわいがあると感じる人」の割合は目標を大きく上回っており、札幌駅前通地下広場、創成川公園の積極的な活用などの成果が着実に現れていると考えられる。		

政策目標	3	活力みなぎる元気な街
重点課題	4	将来を見据えた魅力ある都市の整備
事業実績、評価と反省、今後の取り組み等		
施策2	魅力あふれる都市のまちづくり	
施策への貢献及び成果指標さっぽろ“えがお指標”の達成に向けた今後の事業の取り組み		
<p>【将来を見据えた都市構造(コンパクト・シティ)への強化推進事業】少子高齢化の進展、人口減少社会の到来等、今日的な社会経済情勢に対応するため、都市マスタープランを見直し、マスタープランに基づく取組みを推進していく。</p> <p>【大通交流拠点まちづくり推進事業】都心まちづくり計画及び大通交流拠点まちづくりガイドラインに示される「サッポロ広場」の実現に向けて、地区の地権者における建替事業、再開発事業等と連携し、官民協働で一体的な空間形成に取り組む必要がある。</p>		
施策3	市有建築物の保全、長寿命化などの推進	
24年度の主な取組内容(実績)		
保全工事(78施設)、新エネ・省エネ技術の導入(9施設)及びバリアフリー改善(10施設)を実施。		市有建築物8カ所の改築等を実施。
(仮称)白石区複合庁舎に係る基本設計、地質調査、測量、区民検討会及び民間事業者の公募を実施。		学校施設4校の改築工事に着手。
25年度の主な取組内容(予定)		
保全工事、新エネ・省エネ技術の導入及びバリアフリー改善を計画的に実施。		市有建築物6カ所の改築等を実施。
(仮称)白石区複合庁舎に係る実施設計を実施。		学校施設2校の改築工事に着手。
施策への貢献及び成果指標さっぽろ“えがお指標”の状況からみた事業の評価と反省		
<p>【市有建築物の総合的な保全の推進】市有建築物の計画的な保全により、長寿命化はもとより、環境負荷低減やバリアフリー化などの機能改善を着実に進めている。</p> <p>【学校施設改築事業】災害時には避難所となり、また、平常時においては地域の核ともなる学校施設について、老朽化した施設の改築により、耐震性能の向上及び機能改善が進み、地域環境の向上に貢献できた。</p>		
施策への貢献及び成果指標さっぽろ“えがお指標”の達成に向けた今後の事業の取り組み		
<p>【(仮称)白石区複合庁舎整備事業】地域の防災拠点としての機能を併せ持つ白石区複合庁舎について、適切な耐震性能の確保などにより長期間の使用に耐えうる施設づくりや、地域交流拠点にふさわしい整備を進めていく。</p> <p>【学校施設改築事業】今後、人口急増期に設置した多数の学校が一斉に更新時期を迎えることから、計画的に改築を進め、耐震性能の向上及び環境の改善を図る。</p>		
協働の状況		
【路面電車延伸推進事業】寄付や新型車両の愛称募集など、市民参加の取組について検討。		
【SAPICAの地下鉄・バス・路面電車での共通利用および他事業者の発行するICカードの受入(片利用)】市内民間バス事業者などとともにサービス内容の検討及びシステムの開発などについて協議を実施。		
【学校施設改築事業】基本設計にあたり、保護者や地域住民の代表者等と協議しながら計画案を作成するとともに、住民説明会及び児童へのアンケート等により意見を募集し、設計に反映させた。		